バ、サン候、昔ハ同ク重三重四ト申ケルヲ、唐ノ玄宗皇帝ト楊貴妃ト雙六ヲ遊シケルニ、重三ノ目ガ御用ニテ、朕ガ思フ如クニ出タラバ、五位ニナスベシトテ遊シケレバ、重三ヲリキ、楊貴妃又重四ノ目ヲコフテ、我ガ心ノ如クニヲリタラバ、倶ニ五位ニナスベシトテ打給フニ、重四出タリキ、依テ天子ニ俗言ナシ、同五位ニナサムトテ被成ケルニ、何ヲカ驗シニスベキト云ニ、五位ハ赤衣ヲ著レバトテ、重三重四ノ目ニ朱ヲサヽレテヨリ以來、朱三朱四トヨブトコソ見ヘテ候ヘト奏シケレバ、諸卿皆理ニヤト感ジアハレケル、

〔楊太眞外傳〔下〕〕上宗〇玄與妃〇楊貴妃采戲將北、唯重四轉敗爲勝、連叱之、骰子宛轉而成重四、遂命高力士賜緋、

〔和字正濫要略〕今井似閑頭書私云、源平盛衰記〇源平盛衰記恐平治物語誤少納言信西、雙六ノ目、シュ四朱三トイヘルハ、玄宗ト楊貴妃ト雙六ヲ撲玉ヘル時、コヒメニシュ四シュ三ノ出タレバ五位ヲサヅク、五位ハ赤衣ナレバ、夫ヨリ朱四朱三トイヘルヨシヲイヘリ、今案、此說智アル人ハイツハリ多シトイヘルタグヒニテ、法皇ノオモハズモ信西ニ尋サセ玉ヘバ、廣才ノ聞エアル人ナレバ、サスガニシラズトハイナビガタク、ツクリゴトニイハレタルナルベシ、總ジテ雙六ノ重リタル目ノ詞ハ、皆重ノ字ノ轉語ナリ、重一漢音轉語ノ重二呉音重三ノ轉語重四又シドモ云重五ゴトト通ズ重六ノ轉語是ニテ音ノ無窮ナルコトヲ知ベシ、本字ニヨリテ五音通ジ、假名ノタガヘルコト一ツモナク、音便ヲムヲトセリ、

〔枕草子〕こゝろゆくもの　てうばみに、てうおほくうちたる、

〔嬉遊笑覽雜伎四〕雙六の遊びにて、偶數を勝とする也、

〔古今著聞集博奕十二〕鎌倉の修理大夫時房朝臣のまへにて、雙六の勝負有けり、九郎三、〇三原脫、今據一本補、參河房信濃七郎など有けるに、懸物を出して、ひき目うちたらんもの取べしと定てけり、一番に信